



# TOBACCO

Tobacco Academic Studies Center

産業史資料 No.31



平成のたばこ産地

## はじめに

かつて日本にはほぼ全都道府県に亘り、多くの葉たばこ産地が形成されていた。古くは16世紀末から17世紀初頭にたばこが伝来して以来、急速に全国に広まった在来種の産地。葉たばこは同じ種子であっても、気候・土壌・耕作方法により微妙に変化するため、その地方ごとに数え切れないほどの品種が存在した。それに伴い、自家用も含めれば無数の産地が形成されていたことになる。葉煙草専売制が敷かれた明治31（1898）年時点でも全国に260余の在来種があり、その数の多さは、貴重な換金作物として多くの地域で葉たばこが生業として耕作され、産地が形成されてきたことの証左ともいえよう。その後、黄色種、バーレー種が導入され、耕作面積が最大となった昭和41（1966）年には、耕作農家数309,262戸、耕作面積86,999haを数えるほどになった。

そして平成。たばこ需要の減少等に伴い、その規模は5,958戸、耕作面積8,641ha（平成26年作契約）にまで減少した。十年一昔とすれば、現代である平成もふた昔半を経たことになる。TASCでは、これからも減少していくであろう葉たばこ産地の情景を写真集として残すこととした。一見同じに見えるたばこ畑も、地域によって、また年によってもその生育の姿が異なる。当然、そこに目を向ける農家の技術、葉たばこ作りへの思いも一年、一作ごとに違っている。病虫害や災害と闘いながら形成されてきた産地、葉たばこから他作物への転作を行った産地など葉たばこ産地の近・現況を歴史の一ページとして記憶に留めたい。

本研究は特別研究員千葉信一が担当した。使用した写真は主に筆者が撮りためた約1万枚の写真から使用したが、新たに撮影した写真、個人から提供を受けたものも含まれる。

## 目次

はじめに	2
本書の内容について	4
青森県	5
岩手県	15
秋田県	29
山形県	37
宮城県	43
福島県	47
茨城県	53
栃木県	59
群馬県	65
埼玉県	67
千葉県	69
神奈川県	73
山梨県	77
長野県	79
新潟県	83
富山県	97
石川県	99
福井県	107
静岡県	109
愛知県	115
岐阜県	121
三重県	125
滋賀県	129
京都府	133
奈良県	139
和歌山県	141
大阪府	143
兵庫県	145
岡山県	149
鳥取県	161
広島県	167
島根県	171
山口県	173
香川県	175
愛媛県	179
徳島県	185
高知県	195
福岡県	203
佐賀県	207
長崎県	211
熊本県	215
大分県	225
宮崎県	231
鹿児島県	241
沖縄県	257
資料	263
1.葉たばこの一生	264
2.葉たばこの売買制度	283
3.標本葉たばこ	283
4.標本委員会	285
5.地方協議委員会	286
6.鑑定現場	287
7.葉たばこ生産の推移	292
8.全国たばこ耕作分布図	296
おわりに	299
参考文献	300



■14.7.31 浄法寺町



■14.7.31 浄法寺町



■10.7.1 三好町 阿波葉 外枠での連干し



■10.7.1  
三好町 阿波葉  
外枠での連干し



■10.7.1 三好町 阿波葉 外枠での連干し